

Ignitia

 ガーナ (アフリカ)

熱帯に特化したハイテクな気象サービスのローテク・ソリューションによる普及



世界人口の4割が熱帯に住み、多くは農業によって生計を立てているが、降雨、干魃、嵐など、他の気候よりも変わりやすい気象条件のせいでグローバルな天気予報の的中率は低く、人々は苦心しながら農業を営んでいる。これは熱帯に特化した気象予報モデルを展開した事例である。



背景にある社会課題

- ガーナを含むサブサハラ・アフリカ地域は熱帯に属するが、グローバルな気象予報の的中率は39%に留まり、農家は信頼できる予測にアクセスすることができなかった。

ビジネスモデルと製品の特徴

- スウェーデンの研究で開発された、熱帯に特化した気象予報モデルをもとに、農場単位での高精度（的中率84%）の気象予測サービスを提供している。
- 小規模農家が負担できるよう、4セント/日程度のコストで予報を配信し、農家からは高い満足度を得るとともに、実際に収穫高を増加させている。

SDGビジネスへのアプローチ

- BOPに位置する貧困地域の小規模農家をターゲットとして、安価な情報サービスを大きなスケールで提供することで、ビジネスを成立させつつ、開発インパクトを創出している。
- すでにグローバルにカバーされていると考えられていた気象予報サービスの分野で、熱帯地域が取り残されていることに着目し、独自のモデルを開発することで、気象予報の的中率を大幅に向上させた。
- サービス展開にあたり、現地の事情を考慮し、携帯のショートメールを活用し、文面を徹底的に改良することで高い満足度を実現した。

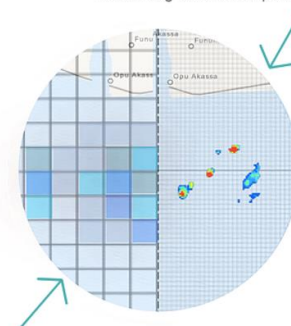
SDGsへのインパクト

- アフリカにおいて400万人以上の契約者（農家）を持っている。
- ナイジェリアでは、契約者（農家）の68%が「サービスを使い始めてから作物の生産量が大幅に増加した」と述べ、最大80%の収穫高増加を報告している。

成功のポイント

- ① すでにグローバルに提供されているサービスについて、地域特性に着目することで、社会課題を発見し、技術開発によってこれを解決した。
- ② 予報の精度だけでなく、ユーザとのコミュニケーションを重視し、テキストメッセージの内容や配信方法を徹底的に改良した。

Ignitia's disruptive technology for simulating convective patterns.



Global model simulation. Over-predicted and miss-located thunderstorms.